

miaw^{みあう} vol.9

医療法人社団 南淡千遙会 南淡路病院広報誌



特集

当院で活躍中!

特定看護師のご紹介

ご案内

地域のみなさまの元気な毎日をサポートする

二つの外来のご案内

地域のみなさまの元気な毎日をサポートする

二つの 外来のご案内

健康長寿 サポート外来

診察日

金曜日(初診・2回目)

「フレイル」を予防して、いつまでも元気に!

体 力や気力が低下し、虚弱状態になることを「フレイル」と言います。フレイルは「身体的フレイル」「精神・心理的フレイル」「社会的フレイル」の三つの領域に分けられ、いずれも「足が痛くて運動しなくなった」「何をするにも億劫になった」「友人が減って外出しなくなった」など、ささいなきっかけから引き起こされます。この三つのフレイルが重なり影響しあうと、心身の機能がどんどん低下する負のスパイラルに陥ります。

当 外来は、このフレイル予防を目的に開設されました。リスクのある高齢者へ生活習慣の改善や運動指導を行い、健康長寿の実現をサポートします。



当院には、地域のみなさまが生き生きと過ごせるよう、日々の健康サポートを目的とした二つの外来を設置しています。お気軽にお問い合わせください。

完全予約制

☎0799-53-1553

受付時間

9:00~12:00 / 15:00~17:00

こんな方におすすめ!

- 歩くのがつらくなってきた
- ご飯が飲み込みにくくなった
- 転倒しないう不安



担当医

みやもと けんや
宮本 憲哉

健康長寿サポート外来で できること

1 医師による診察・検査

医師による診察後、採血やレントゲン検査などを行います。



3 結果説明

検査結果を説明し、今後の生活についてアドバイスします。



2 筋力・各機能の測定

筋力・バランス能力・口腔機能や認知機能を測定します。



4 アフターケア

健康相談や栄養指導、外来リハビリを受けられます。



摂食・嚥下 専門外来

診察日

月・木・金曜日

「口から安全に食べる」
をサポート

「食 べる」ためには口や喉の機能が大切ですが、加齢により口や喉の機能が衰え、摂食・嚥下機能が低下すると、誤嚥しやすくなります。誤嚥により、誤嚥性肺炎を発症するなど命に関わる状態に発展することがあります。また、うまく食べられないことによって食べる量が減り、低栄養や脱水を引き起こすこともあります。そうすると飲み込みに使う筋力を含め全身の筋力が低下し、さらに摂食・嚥下機能が低下してしまいます。

当 外来は「食べる」機能の専門外来として、摂食・嚥下機能の改善を目指し、いつまでも安全な食生活が送れるようにサポートします。

こんな方におすすめ!

- 食事中にムセが多くなった
- 食事に時間がかかるようになった
- 食事中に息苦しさをを感じる
- 食後、湿ったガラガラ声になる



担当医

はやし よしき
林 義之

摂食・嚥下専門 外来でできること

1 医師による診察・検査

口の中や喉の状態を診察します。

2 嚥下評価

食べ物や飲み物を飲み込む様子を確認します。



3 VF検査

造影剤を飲んでいただき、X線透視下で嚥下の様子を検査します。



4 結果説明

検査結果を説明し、今後の生活についてアドバイスします。

5 アフターケア

言語聴覚士による嚥下リハビリテーション、管理栄養士による栄養指導が受けられます。



私たちの使命は、患者さん・利用者さんのQOLを追求すること。つまり、病気や障がいがありながらも、自分らしく生きられることの実現です。治療や障がい軽減に努める時も、この視点を大切にします。一人ひとりが自分らしく生きるためには何が必要なのか。私たちは、考え、取り組み続けます。



平成医療福祉グループ Mission

じぶんを生きるを みんなのものに



最新情報や
グループの取り組みに
ついてはこちらから

平成医療福祉グループ

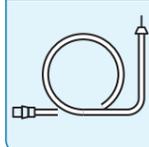




インスリン投与量の調整

- 血糖コントロールに関わる
インスリン投与量の調整 など

カテーテルの管理



- IVH（中心静脈栄養）抜去 など



創傷の管理

じよくそう

- 褥瘡壊死組織の除去
- 陰圧閉鎖療法 など

薬剤投与



- 感染症状に関わる薬剤投与
- 精神系症状に関わる薬剤投与 など

特定看護師が できること

Tokutei Kangoshi Ga Dekirukoto

当院では、慢性期医療に特化した特定行為を実施できます。



呼吸器関連の管理



- カニューレ交換 など

栄養・水分の管理



- 脱水補正
- 高カロリー輸液の投与量の調整 など



→特定看護師は、青色のスクラップを着ています！

特定看護師とは？

特定看護師とは、特定行為（特定の診療補助業務）を実施することができ、看護師の指導を指しします。通常、看護師は医師の指示なしに医療行為を行うことはできません。ところが特定看護師は、医師が事前に作成した手順書があれば、病状の範囲内で医師の判断を待つことなく特定医療行為を実施できます。

特定看護師は、チーム医療の推進と医療の質の向上に貢献するものとして、医療の現場で期待されています。



特定看護師の制度が
生まれた背景

日本は世界に類を見ない速さで高齢化が進んでいます。超高齢化社会はさまざまな問題を引き起こし、医療ニーズの多様化が予測されます。ここで問題となるのは人手不足で、特に過疎地域では医療従事者の不足が深刻化すると考えられます。その中で質の高い医療を提供するためには、チーム医療を推進し、仕事を分担しながら連携する必要があります。

その解決策の一つとして、医療従事者の仕事の範囲や体制の見直しが行われ、2017年に特定看護師の制度が導入されました。



特定看護師の紹介

高度な知識と技術を持ち、チーム医療に貢献している「特定看護師」。当院には4人の特定看護師が在籍し、日々現場で活躍しています。今回は、特定看護師についてご紹介します。

当院で活躍中！



Message

看護主任より



あちうちまきこ
足立 真子

看護部長より



かまくらふみこ
鎌倉 史雄

私が特定看護師を志したのは、上司のすすめと、医師から「知らないことを知るのワクワクするし、やりがいもあるよ」と背中を押されたことがきっかけです。最初は緊張してばかりでしたが、患者さんに良い変化が起こるのを見て、うれしく感じました。

みなさんも、何か始めようか迷っているがありましたら、ぜひ一歩進んでみることをおすすめします。

特定看護師の制度が始まって、7年が経ちました。現在当院には私を含め4人の特定看護師が在籍しています。私自身、研修を受講することで、スキルアップに加え、「治療」という新たな角度から医療を学ぶことができました。

特定看護師の院内での活動の場は多岐にわたります。今後仲間が増え、院内外で活躍の場が拡大していけるように努力していきたいです。

vol.9
徘徊のある方には
GPSを

お話：大塚 泰則 先生

GPSで
行方不明を防止

40 数年前、私が大学生の頃のことです。遠い親戚に「行方不明になったので捜してほしい」という依頼がありました。大勢の人があちらこちらと車で捜しましたが、なかなか見つかりませんでした。日本では2022年の認知症を原因とした行方不明者は18000人余り、そのうち亡くなる方は491人でした。そして、毎年100人超の方が行方不明のままです。^{※1}

当院のもの忘れ外来にかかっておられる患者さんの中にも、徘徊の結果、警察に何度も保護される方がいらっしやいます。命の危険があると判断した場合には、緊急避難的に入院をしてもらうことも

あります。増え続ける行方不明者を捜すのに、最近はいT技術が貢献しており、人の所在地が比較的簡単にわかるようになってきました。例えば、アメリカのアップル社は「AirTag（エアタグ）」という商品販売しています。これは電波を出して近くに存在する第三者のスマートフォンに受信させ、クラウドに上げることで位置を特定します。^{※2}

また、GPS発信装置もあります。GPSとは、人工衛星からの電波を受信し、その電波から自身の位置情報を計算して発信する装置です。これらを所持していると、瞬時に探す方向性を見つけられます。

さらに、AI（人工知能）を活用し、防犯カメラなどに映った人物を特定して、その人物が他のカメラに映っていないか照合できる技術を開発している会社もあります。

先ほどお話ししたおじいさんの頃に、このような技術があれば良かったのになと思わずにはいられません。おじいさんが行方不明となつてから半年くらい経過した時、畑の土をこもりと盛った土地の上で亡くなっているのが見つかりました。その場所は、おじいさんがかつて勤めに出ていた頃の通勤ルートでした。

認知症の進行した方でも、遠い昔の記憶は比較的しっかりしています。もし行方がわからなくなつて探す場合には、かつて勤務していたところや生家など、馴染みがあった場所を探してみると良いかもしれません。

※1 警察庁生活安全局人身安全・少年課「令和4年における行方不明者の状況」より。
※2 「クラウドコンピューティング」の略称。インターネットなどのネットワーク経由でユーザーにサービスを提供する形態のこと。

Welcome aboard!

新人スタッフのご紹介

今年度入職した、6名のスタッフをご紹介します。
外来や病棟で見かけたら、お気軽にお声がけください!



理学療法士

こにし まな
小西 真菜



■ひとこと

今の目標は、仕事の仕組みや流れを理解することと、他職種の人たちとの関わりを増やすことです。周りの先輩がフォローしてくださるので、安心して働いています。

モチベーションの
上がる言葉

すごいね

作業療法士

しみず はるか
清水 日香



■ひとこと

患者さんにとって何が必要なのか考えて行動できるようになることが今の目標です。相談にのってくださる先輩方がいて、温かな環境で働いていると感じています。

モチベーションの
上がる言葉

ありがとう。

看護師

やまさき みゆき
山崎 美由希



■ひとこと

覚えることが多く、毎日が目まぐるしいけれど、一つひとつ着実に達成できるように努めます。

モチベーションの
上がる言葉

みんなが通る道だから、
(失敗してはダメ)

栄養士

いわしろ そうた
岩白 颯太



■ひとこと

覚えることが多く大変ですが、先輩方が丁寧に教えてくださるので、がんばれています。1年後は、後輩にとってやさしく頼りになる先輩になりたいです!

モチベーションの
上がる言葉

ありがとう

介護士

こだま ひろむ
児玉 大夢



■ひとこと

少しずつ慣れてきて、患者さんとの会話が増え、毎日楽しく働いています。早く仕事を覚えて、できることを増やしたいです。

モチベーションの
上がる言葉

ありがとう

作業療法士

ごとう らいと
後藤 礼人



■ひとこと

移乗動作の誘導をうまくできるようになりたいです。1年後は、信頼される先輩になれるようがんばりたいです。

モチベーションの
上がる言葉

継続は力なり

平成医療福祉グループの Webサイトが 新しくなりました!



本院が所属する平成医療福祉グループのWebサイトがリニューアルしました。さまざまなテーマの特集記事など、充実したコンテンツを展開しています。各種SNSも更新中! ぜひご覧ください。



Webサイト hmw.gr.jp
平成医療福祉グループ



SNS
noteをはじめ、Instagramなど各種SNSにて情報を発信中です!



本院のWebサイトも ご覧ください!



本院のWebサイトも定期的に更新中です。「南淡路ニュース」や「お知らせ」から、最新情報をチェックしてください。

Webサイト <https://minamihp.jp/>



外来担当表

2024年8月現在		月	火	水	木	金	土
総合診療科	午前	林 義之	—	—	林 義之	宮本 憲哉 (徳島大学呼吸器・ 膠原病内科)	—
精神科	午前 ----- 午後	山崎 哲也	中元 幸治 (もの忘れ外来)	小山 匡	大塚 泰則 (もの忘れ外来)	山崎 哲也	大塚 泰則 (もの忘れ外来)



- 診療科目 内科・心療内科・精神科・もの忘れ外来・リハビリテーション科
- 診療時間 月～土曜 [午前] 9:00～12:00
[午後] 15:00～17:00
- 休診日 日曜祝日・年末年始



〒656-0516 兵庫県南あわじ市賀集福井560
Tel.0799-53-1553 Fax.0799-53-1554
www.minamihp.jp info@minamihp.jp